

# ミノコバイモ

*Fritillaria japonica* Miq. var. *japonica*

ユリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

長年にわたり、石川県における本種の自生が疑われ、その調査が続けられてきたが、このたび、疑問の余地なく数地点での分布が確認されたので絶滅危惧種として記録する。(現況:RO)

## 形態

石川県にはコバイモ類は本種とコシノコバイモ *F. koizumiana* Ohwi の2種を産するが、両種はともに花は釣り鐘形で、葯は黄白色、花被片の外側に暗色の斑点がある点は共通であるが、次の点で形態が異なる。すなわち、花被片の縁にとげ状の突起があり、やや反り返るのがコシノコバイモで、花被片の縁が全縁なのが本種である。染色体数はコシノコバイモは  $2n=24$ 、本種は  $2n=22$ 。球根は半球形の2個の鱗片より成る。

## 国内分布

近畿地方、岐阜、福井、石川の各県に分布。

## 県内分布

南加賀区。

## 生態など

林下等に生育する多年生草本で春植物。花期は4～5月。

## 生育環境

急斜面。

## 危険要因

園芸採取、産地局限、その他(地表変動など)。



白井伸和・2007年4月5日

分布図はありません。

県内の分布